



アグリ情報 ちば



Agri Information CHIBA

 JA全農ちば



農業大学の模擬会社が落花生生産から
販売までに初挑戦 (5月31日)

私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋** になります。

CONTENTS

全農自己改革

- ・受注生産資材コスト低減に向けた取り組み
共同購入トラクター

営農情報

- ・果樹(ナシ)病害虫防除情報
- ・スマート農業ツールの活用

園芸情報

- ・販売経過および情勢

米穀情報

- ・米麦・特産情勢

肥料情報

- ・高品質にんじんの栽培に向けて

トピックス

- ・全農杯 全日本卓球選手権大会(ホープス・カブ・バンビの部)
千葉県大会を開催!
- ・農業大学校学生が初の落花生生産から販売までに挑戦

お知らせ

- ・みどりの食料システム戦略

食と農を
未来へつなぐ全農自己改革の取組状況
農業機械事業受注生産資材コスト低減に向けた取り組み
共同購入トラクター

生産者&JA 全国一万人以上の声を反映

基本型式

共同購入トラクター SL33L

生産者の営農規模と栽培品目の拡大を支援する

価格を安く 必要な機能を厳選 快適・安全な作業性 様々な作業への汎用性

型式
SL33LFMAEP
ロプス仕様
メーカー希望小売価格 **285万円** (税別)

製品紹介動画
はこちら
(YouTube)

JAグループ / 全農

JAグループは生産者の需要を取りまとめ、一括発注を行うことで、メーカーは製造・流通の効率化をはかり、生産者へ価格メリットを還元します。

J A全農では、共同購入の第2弾となる中型トラクター（30馬力クラス）について、令和2年10月から取り組みを開始しました。

お陰様で、令和5月末時点では全国目標2,000台に対し2,744台（うち千葉県91台）の受注をいただいております。

この中型トラクターは、標準3点リンクのオートヒッチが装着可能なことや、ロータリー作業を無給油で概ね8時間継続できる燃料タンク（48ℓ）が装着されています。

受注期間は、令和5年3月末までとなりますので、詳しくは最寄りのJ Aにお問い合わせください。

共同購入トラクターは、J Aグループで生産者の需要を取りまとめ、J A全農が生産者の代理人として一括受注・仕入れを行うコスト低減の取り組みの一つです。メーカーの製造・流通の効率化を促し、生産者へ価格メリットを還元する取り組みです。

営農情報

果樹（ナシ）病害虫防除情報

1. はじめに

本年は開花時期に降雨が多く、その後も天候不順が続いたため、黒星病の感染好適条件が揃いました。4月中旬から芽基部病斑をはじめ、葉や果実への黒星病被害事例も多く見られています。千葉県の病害虫発生予報第2号においても今後の黒星病の予想発生量は「多」となっており、6月6日に梅雨入りしたため、降雨が続くと黒星病拡大のリスクが高まります。防除のタイミングを逃さないように十分に注意してください。また、カイガラムシ類、ハマキ・シンクイムシ類の発生時期にもなりますので、病気と併せて害虫対策も徹底しましょう。

さらに、6月2日の降雹により新梢等に被害が生じている場合は、対策として損傷部にトップジンMペーストを塗布しましょう。

2. 黒星病対策



【6月】黒星病 防除薬剤（輪紋病防除を含む）

6月上旬：ベルコートフロアブル 1,500倍（収穫14日前／5回以内）

6月中旬：フロンサイドSC 2,000倍（収穫30日前／散布1回）

6月下旬（新梢停止直後）：ストロビードライフロアブル【Qol剤（ストロビルリン系）】

2,000倍（収穫前日まで／3回以内）

時期の目安に注意。果実肥大期に防除することが狙いです。

+ オースサイド水和剤80 1,000倍（収穫3日前／9回以内）

さらに黒星病対策が必要な場合は、臨機でオースサイド水和剤80またはベルコートフロアブル、もしくはベルコートフロアブル+ユニックス顆粒水和剤47（5月に散布していない場合に限る）を散布（回数に注意）します。また、治療剤を使用する場合も耐性菌対策のためにこれら薬剤を必ず追加しましょう。

【7月】黒星病、防除薬剤（輪紋病防除を含む）

7月上旬：インダーフロアブル【DMI（EBI）剤】 10,000倍（収穫7日前／3回以内）

+ベルコートフロアブル 1,500倍（収穫14日前／5回以内）

7月中旬：フルーツセイバー【SDHI剤】 1,500倍（収穫前日／3回以内）

+オースサイド水和剤80 1,000倍（収穫3日前／9回以内）

※輪紋病多発園ではフルーツセイバーの代わりにパレード15フロアブル【SDHI剤】 2,000倍（収穫前日／2回以内）でもよい。

収穫期：トップジンM水和剤（輪紋病対策） 1,500倍（収穫前日／6回以内）

オースサイド水和剤80は果実に薬剤汚れが発生する可能性があるため、対策が必要な場合、展着剤まくぴか10,000倍を加用しましょう。また、泡立ち防止のためにまくぴかは最後に加えましょう。

●梅雨期の散布タイミングに注意

梅雨期は薬剤の散布タイミングを逃しやすい時期です。天気予報に注意し、散布作業ができる日を逃さないように注意しましょう。

●殺菌剤散布時期と降雨

薬剤の残効が切れた後に降雨を受けないような防除が理想的です。残効の目安は約10～14日です。降雨が続いている場合は薬剤が流されやすく、病害も感染しやすくなるので、さらに薬剤散布間隔を短めにするよう意識します。また、薬剤散布の際は防除効果を安定させるために次の点に注意してください。

- ① 発病した果そう基部、葉、果実は二次伝染源となるため、圃場外に持ち出して処分する。
- ② 薬剤散布を行うにあたっては、十分な散布水量（250ℓ/10a）で散布する。散布量が少ないと防除効果にムラが出てしまう。

3. ハダニ類対策

今後、梅雨が明けてさらに気温が高い日（30℃以上）が続くと、ハダニは10日で1世代が替わる速さで増加を始めます。梅雨～梅雨明け直前ごろからのカネマイト・ダニゲッターによる防除が基本ですが、園内の発生状況を確認し、必要に応じて時期を早める必要があります。

○ハダニ防除薬剤

時 期	薬剤名	主な効果	登録内容
6月下旬	カネマイトフロアブル	サビダニ対策兼ねる	1,000倍・収穫前日・1回
7月上旬	ダニゲッターフロアブル	殺卵・幼虫のみ	2,000倍・収穫前日・1回
7月下旬	ダニコングフロアブル	殺卵～殺成虫	2,000倍・収穫前日・1回

4. カイガラムシ類対策

薬剤が効くのは主に幼虫の時期です。そのため、カイガラムシ類の対策は各種の産卵時期が重なる6月の防除が非常に重要となります。散布のかけムラによる効果不足が発生しやすいので、枝の上側・園外周などの薬剤をかけにくい部分に発生が見られる場合には、直接散布するなどの配慮が必要です。丁寧な薬剤散布を心がけましょう。



ナシマルカイガラムシ
による被害果

○カイガラムシ類防除薬剤

時 期	薬剤名	登録内容
6月上旬	ダースバンDF	3,000倍・収穫30日前・3回以内
6月上～中旬 （臨機）	コルト顆粒水和剤▲	3,000倍・収穫前日・3回以内
	トランスフォームフロアブル▲	1,000倍・収穫前日・3回以内
6月下旬	オリオン水和剤40※	1,000倍・収穫3日前・2回以内

▲…どちらか選択

主にコルトはチャノキイロアザミウマ、トランスフォームはアブラムシ類対策。

また、どちらもカイガラムシ類対策も兼ねる。

※昨年度防除暦より変更点のため注意

スマート農業ツールの活用

1. J A全農が取り組むスマート農業

スマート農業とは、ロボット技術やICTを利用し、省力化や精密化を図った農業生産を実施することです。スマート農業は、高齢化にともなう後継者や働き手の不足、栽培技術の伝承、気象の極端化による作業負担増加といった農業現場の課題を解決する手段の1つとして、注目が高まっています。

しかし、スマート農業には機械および施設費が高コストであること、利用できる技術がまだ部分的であることといった課題があります。そのため、J A全農は比較的低コストで生産者が取り組みやすいスマート農業の普及に取り組んでいます。今回、普及を進めているスマート農業の中からいくつかツールをご紹介します。

2. 全農営農管理システム「Z-GIS」

(1) Z-GISとは

地図上の圃場の形に合わせて作成したポリゴン（圃場を表現した多角形の平面図形）とMicrosoft Excelで管理する圃場データを結びつけて管理するクラウド型のシステムです。「情報を見える化する」という点に優れており、これまで紙媒体で管理していた圃場情報をデジタル化して効率的に管理することやクラウド※の使用により1つのファイルを複数名で共有して活用することができます。

※「クラウド」はインターネット上にデータなどを保管できる仕組みです。



〈Z-GIS基本画面〉

(2) 活用場面

Z-GISは管理項目を自由に設定できるため、様々な場面で活用方法を検討することができます。ここでは、代表的な活用方法をご紹介します。

- ア. ダイコン生産部会のGAP管理で、圃場管理（所有者、栽培面積、品種、播種日など）に活用しています。広範囲に散在する圃場情報を効率的に管理することができます。
- イ. 水稻生産法人などの圃場情報を効率的に管理することができます。作業内容や場所の指示にミスをなくし、従業員の作業効率化に有効です。
- ウ. 作業の受委託を効率的に管理することができます。

3. 栽培管理支援システム「ザルビオフィールドマネージャー」

(1) ザルビオフィールドマネージャーとは

作物や品種、気象情報、人工衛星からの画像など、様々な情報をAI（人工知能）により解析することで、最適な栽培管理を提案する新しい総合的な栽培支援システムです。栽培管理記録や計画はもちろん、その年の気象情報や品種などを考慮した予測結果を基に圃場毎の推奨作業を提案し、栽培管理の最適化を支援します。

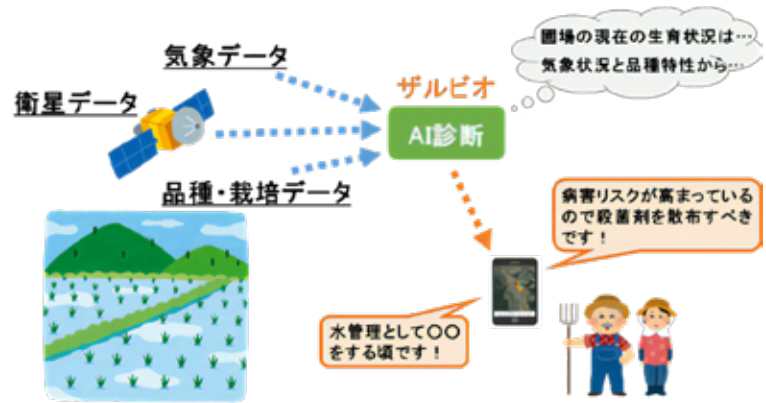
また、全農営農管理システム「Z-GIS」とシステム連携をしています。Z-GISで作成した圃場台帳やデータをザルビオへ簡単に登録することや、ザルビオが行った生育予測等のデータをZ-GISに取り込んで効率よくデータをまとめることができます。

(2) 期待される活用場面

ア. 栽培情報とザルピオによる予測結果をＪＡおよび生産者で共有することで、営農管理が効率化できます。

イ. ザルピオの生育予測および病害予測を参考に栽培管理を行うことで、栽培期間中のリスクを低減し生産の安定化を図れます。

ウ. ザルピオは人工衛星リモートセンシングで解析した生育状況地図を、定期的に取得することができます。取得した生育状況地図を参考に、追肥や基肥の精密化を図ることができます。



(3) 現在のサービス内容

現在提供しているサービスは、水稻（①生育予測に基づく重要管理のタイミング提案、②病害発生予測による防除タイミング提案）、大豆（発生草種にあわせた雑草管理体系提案）です。取扱品目については順次拡大していく方針です。一方、現時点では予測精度に課題も残しています。ＪＡ全農ではサービスの拡大と並行して、引き続き予測精度改善に取り組んでまいります。

4. 営農計画策定支援システム「Z-BFM」

(1) Z-BFMとは

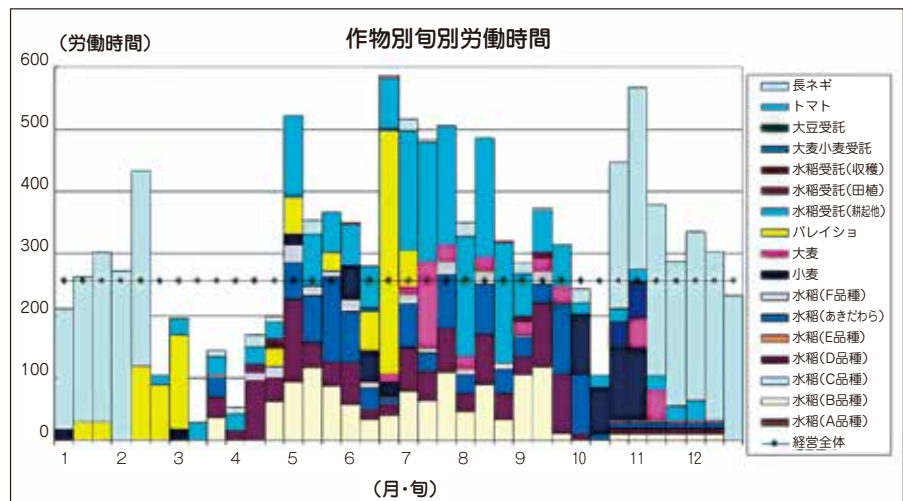
労働力や作付け面積などの経営概況を入力し、作付け作目の経営指標から農業所得が最大となる農業計画案を作成するシステムです。

(2) 活用場面

ア. 農業経営改善のPDCAサイクル

を実施する参考データとして活用し、農業経営の手取り最大化を支援します。

イ. 新規就農者の経営計画を支援します。



5. さいごに

ＪＡグループ千葉は第38回ＪＡ千葉県大会（令和3年10月）で「持続可能な農業・地域・事業・経営基盤の実現」を進めるとしています。ＪＡ全農ちばは、スマート農業ツールを適切に活用し、生産者が持続的に営農を維持・発展できるよう取り組みを進めてまいります。

園芸情報

販売経過および情勢

青果物 5月の販売経過

5月の天候は北日本で暖かい空気が流れ込みやすく、平均気温が高くなりました。降水量は、西日本日本海側でかなり少なく、日照時間は東日本日本海側でかなり多くなりました。

5月の東京都中央卸売市場の野菜入荷量は、前年同月比で98%となりました。

上旬までは曇雨天が続いたため、全体的に生育や収穫に遅れが見られました。

キャベツは上中旬に端境を迎え、だいこんは近在産地のピーク終了が早まったことで前年をやや下回りました。トマトも病害などの影響で熊本の入荷が少なくなりました。

一方で、レタスは茨城の残量が多いなか、高冷地との端境期も入荷が安定しており、前年を上回る入荷となりました。

単価は、前年同月比で109%となりました。

ばれいしょ、さといもは前年より入荷量が多く前年の価格を下回ったものの、多くの品目が前年よりやや少ない入荷となり、重量野菜を中心に前年の価格を上回りました。

国産果実の入荷量は、前年同月比で87%となりました。

すいかやメロンは、交配期の低温による生育遅れや小玉傾向から、いちごなどは例年より傷み果が多くなり、産地によって切り上がり及早まったことで前年を下回りました。

単価は前年同月比で114%となりました。

前月同様にあまなつなど一部で前年をやや下回る品目もありますが、多くの品目で前年を上回る価格となりました。

※数値はどれも東京都中央卸売市場統計データによる

東京都中央卸売市場の野菜入荷量および単価（5月）

	数 量		単 価	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)
上 旬	35,231	91	272	108
中 旬	39,283	95	271	112
下 旬	45,135	106	275	107
月 計	119,649	98	273	109

JA全農ちばの販売状況（5月）

	数 量		単 価		取 扱 額	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)	(百万円)	前年比 (%)
野 菜 計	31,690	81%	153	125%	4,837	100%
果 実 計	2,048	69%	334	110%	684	75%
だいこん	8,906	99%	104	140%	928	138%
にんじん	2,802	67%	133	103%	373	69%
キャベツ	11,722	69%	86	143%	1,011	99%
ほうれん草	33	72%	462	131%	15	105%
ね ぎ	1,142	105%	358	93%	408	97%
春 菊	20	61%	828	148%	17	91%
パセリ	42	85%	1,113	174%	47	147%
きゅうり	1,469	89%	217	111%	319	98%
ト マ ト	996	75%	244	115%	243	86%
いんげん	97	84%	1,122	113%	109	104%
そ ら 豆	189	81%	491	104%	93	119%
す い か	1,857	68%	280	110%	519	74%

6月主要品目

作付動向・作柄状況

見通し基準（前年対比）	
多・高	+10%以上
やや多・やや高	+5%～10%
並	±5%以内
やや少・やや安	-5%～10%
少・安	-10%以上

入荷量・価格は
東京都中央卸売
市場の集計です

品名	入荷量（t）		単価（円/kg）		主産地	作柄および概況
	当年見通し	前年実績	当年見通し	前年実績		
キャベツ	並	15,497	並	86	千葉・茨城 群馬	千葉・茨城の生育は曇天と低温の影響から一部で遅れが見られ、群馬は概ね順調。中旬以降は各産地の出荷が重なることから弱めの展開を見込む。
だいこん	やや多	6,002	やや安	108	青森 千葉県	千葉は上旬に概ね終了。青森は生育順調で少なかった前年を上回る出荷となる。北海道も生育順調で前年並みの出荷となり、潤沢な出荷から前年をやや下回る単価を見込む。
にんじん	並	6,370	やや高	124	千葉	千葉の出荷遅れ分の入荷が見込まれる一方で徳島が切り上がり期の時期を迎えるため、月全体では前年並みの入荷量を見込む。単価は安値の前年をやや上回ると見込まれる。
トマト	並	7,249	並	300	栃木 愛知 千葉 熊本	熊本は病害等で少ない出荷が見込まれる。色回りが遅れていた近在産は中旬までまとまった数量での出荷となり、玉流れも大玉傾向となる。総体では前年並みの入荷を見込む。
きゅうり	並	7,534	やや高	266	埼玉 群馬 福岡	西南暖地が減少し、関東産中心の入荷もピークを過ぎる。東北産の生育は順調で増加傾向。価格は、5月の高値の反動で引き合いが弱まった前年をやや上回る見込み。
ねぎ	並	3,608	並	368	茨城 千葉	茨城の夏ねぎが出荷ピークを迎える。茨城・千葉の生育は概ね順調であり、月全体の入荷量は前年並みを見込む。単価は概ね前年並みでの販売となる見込み。
ほうれん草	並	1,406	並	428	群馬 茨城 栃木 岐阜	各産地生育は順調で、作付面積もやや増加していることから入荷量が多かった前年並みとなる見込み。単価は前年並みを見込むも気温上昇による品質低下が懸念される。
パセリ	並	53	並	759	千葉 長野	長野は中旬以降に増量を見込むも全体量は前年並みとなる見込み。6月は年間でも入荷の多い月のため厳しい販売環境が見込まれ、単価は安かった前年並みとなる見込み。
とうもろこし	並	3,925	並	288	茨城 千葉 群馬	曇天と低温の影響から一部で生育遅れが見られるが、月全体では前年並みの入荷を見込む。露地作が徐々に増量し、軟調な展開となるものの、単価は前年並みを見込む。
メロン	やや少	4,250	やや高	474	千葉 茨城	千葉・茨城ともに生育は遅れており、6月中旬まで入荷が少なく、前年をやや上回る単価での販売となる見込み。下旬以降は出荷量増量のため軟調な展開を見込む。
すいか	やや少	6,743	並	235	千葉 鳥取 新潟	鳥取は作柄良好だが生育は若干遅れている。千葉は中旬が露地作のピークとなるが、着果不良等が一部散見され、前年をやや下回る出荷量となる見込み。

花 販売情勢

◆5月の販売経過【切花】

本年は春先の低温と燃油価格の高騰により、品目によって生育遅れがみられ、さらに輸送コストの上昇や世界情勢の影響から輸入品も不安定な入荷となったため、平年を下回る入荷量となりました。

本年は母の日が例年よりも早く、4月下旬からカーネーションを中心に平年よりも高い単価で推移しました。また、菊類においても作付面積の減少や夏菊への切り替わりで出荷量が少ない中、母の日参り需要で量販店・小売店で活発な取引となり、平年を上回る単価での販売となりました。中旬以降は需要が落ちつき、気温の上昇で各産地ともに出荷が増量となったことからカーネーション・バラ等は単価が弱めとはなりましたが、ひまわり等の季節商材は旬ものとして安定した需要で推移したため、平年より高い単価での販売となりました。

◆今後の見通し（7月）【切花】

現在、高冷産地の生育は概ね順調に推移しているものの、今後の梅雨入りによる長雨・曇天等の天候次第では出荷量や品質に影響が与えることが予想されます。

販売は、新盆需要期を中心に菊類や千日紅等の仏花商材については例年同様に量販店・小売店で動きが出ることが見込まれ、本年においても安定した販売となる見込みです。また、新型コロナウイルスによる行動制限が緩和されたことから冠婚葬祭やイベント等についても徐々に動きが戻ることが期待される状況となっています。



◆今後の見通し（7月）【品目別】

品 名	作 柄 お よ び 概 況
トルコキキョウ	出荷産地が暖地から長野・山形・福島・岩手等の高冷産地へと切り替わる。今後の天候次第ではあるが例年並みの入荷となる見込み。 販売に関しては新盆需要を中心とした動きを見込む。
ひ ま わ り	千葉・北海道・福島が主力の出荷。 現状の生育は順調に推移しており、安定した入荷となる見込み。 夏商材として需要があり、一般消費向けを中心に動きがある見込み。
千 日 紅	千葉が主力の出荷。 新盆需要の動きを中心としてローズネオン等安定した販売を見込む。
小 菊	茨城・福島・岩手が主力の出荷。 産地によって一部遅れが見られるものの生育は概ね順調に推移しており、各色安定した入荷となる見込み。 新盆需要を中心に安定した販売となる見込み。

米穀情報

米 麦 ・ 特 産 情 勢

1. 令和4年産の千葉県水稻生育状況（6月3日千葉県発表）

5月下旬は日照時間がやや多く、生育の遅速（葉齢の進み）は平年並みで推移しています。生育量は回復傾向ですが、各品種とも平年と比べて茎数は少なめで葉色はやや淡く推移しています。例年より、還元障害の発生している圃場が多く見られます。

一部の圃場では茎数確保が遅れていますが、「ふさおとめ」、「ふさこがね」は中干しを始める時期に入っています。

気象庁の2週間気温予報では、今後の気温が「低い」と予測しています。幼穂形成期が見込みよりずれる可能性があります、こまめに幼穂を確認しましょう。

表 1 品種別の生育状況（6月1日現在）

品種	植付時期	平年比※			
		葉令の進み	草丈	茎数	葉色
ふさおとめ	4月20日	並	やや長	やや少	やや淡
ふさこがね	4月20日	並	やや短	やや少	やや淡
コシヒカリ	4月20日	並	やや短	やや少	並
	5月 1日	並	並	やや少	並
粒すけ	4月20日	並	並	やや少	並

※平年比は過去10か年（2012～2021年）の平均値との比較。

ただし、粒すけは過去5年（2015～2021年）のデータとの比較。

2. 生産履歴記録簿の中間チェック

間もなく中間チェックの時期を迎えます。生産履歴簿は皆さんが生産したお米が安心・安全であるという証明になります。記帳漏れや記帳間違いが発生してしまうと産地全体の信頼を失うことになりますので、正確な記帳をお願いします。

なお、記帳シートは4枚複写（全農控・J A 控・生産者控・中間提出用）になっており、最後の1枚（緑色）が中間提出用です。

★ここに注意してください。 ～記帳注意7ヵ条～

1. J A 名は、必ず記入してください。支所名ではありません。
2. 作付圃場の面積を必ず「a」で記入してください。（「㎡」ではありません。）
3. 作付圃場の合計面積は、必ず記入してください。
→購入種籾量と作付面積の整合性が重要です。
4. 出穂日は、必ず記入してください。
→異品種の混入を点検する大事な確認作業です。
5. 住所、電話番号の記入と捺印を忘れずにしてください。
6. 選別網目サイズは、必ず記入してください。
7. 生産資材の使用量は、10a 当たりで記入してください。

3. 麦類情勢

●国内外麦の動向について

(1) 小麦の国際相場および外国産小麦の動向

令和3年の干ばつによる北米産小麦の不作および品質の低下に加え、ロシアの輸出規制やウクライナ情勢を受けた供給懸念から、小麦の国際価格は高騰しています。これに加え、円安、燃料高騰にともなう海上運賃の上昇により、国内における外国産小麦の政府売渡価格も大幅値上げとなっています。

表2 輸入小麦の政府売渡価格の推移

（単位：円/トン、税込）

	令和2年4月	令和2年10月	令和3年4月	令和3年10月	令和4年4月
政府売渡価格	51,420	49,210	51,930	61,820	72,530
前期比	—	▲4.3%	+5.5%	+19.0%	+17.3%

資料：『令和4年4月期の小麦の政府売渡価格について』（農林水産省 令和4年3月9日）

※政府売渡価格は、過去6か月間の買付価格の平均から算定。

5銘柄の加重平均（カナダ産：1銘柄、アメリカ産：3銘柄、オーストラリア産：1銘柄）。

※過去高かった政府売渡価格：76,030円/トン（平成20年10月）。過去10年平均：53,895円/トン。

(2) 国内産小麦の需要動向

国内産小麦は、外国産小麦と品質や用途が異なることから、外国産小麦の代替用途は限定的となっています。価格は外国産小麦に連動し上昇傾向であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により需給は緩和、価格と需給が一致していない状況です。

今後、更なる流通在庫の増大が見込まれるため、国内産小麦の需要拡大の取り組みや、保管期間の長期化に備えた品質向上対策に取り組む必要があります。

J Aと令和4年産落花生の出荷契約締結を お願いいたします

落花生は、全国生産量の約8割を占める特産物であり、畑作経営における基幹作物であるとともに野菜類との輪作作物として重要な位置を占めています。しかしながら、作付面積は近年の集中的な大雨などの天候不順の影響から収量が安定しない年が続いていることもあり、年々減少傾向にあります。一方、販売面ではメディアに健康機能性が取りあげられるなど、需要は上向きの状況にあります。

J A全農ちばは、栽培管理記録簿の記帳を基本とした単年度および複数年契約栽培を提案し、生産量の確保と品質向上をはかるとともに生産販売拡大に取り組んでいます。

皆さまには、系統への集荷にご理解・ご協力をお願いいたします。

★落花生出荷にあたって

1. 最寄りのJ Aに申込書、出荷見込明細を提出してください。
2. 対象品種は、千葉半立・ナカテユタカ・千葉P114号（Qなっつ）の3品種です。
3. 提出期限は**令和4年6月30日（木）**です。

肥料情報

高品質にんじんの栽培に向けて



高品質なにんじんの収量を高めるには土づくりが大切です!!
有機質肥料と土づくり肥料を上手に使いましょう!!

◎ 基肥は有機質肥料を豊富に含んだものが効果的です!!

区 分	銘 柄	成 分 (%)				特 長
		窒素	リン酸	加里	その他	
基 肥	人参ペレット705	7	10	5	苦土 1%	マンガン、ハウソ入り 有機割合62%
	きらめき888	8	8	8		有機割合52% ペレット
	やさいみどり有機	8	9	7	苦土 2%	有機約50% 速効性+緩効性
	エコレット808	8	10	8		堆肥約50% 堆肥・化成のダブル効果
	人参ブリケット007	10	10	7	苦土 1%	有機割合28%
	ちば人参有機ペレット	10	12	8		硫黄被覆肥料入り 有機割合50%
	紅一発J	17	16	10	苦土 3%	省力型緩効性肥料 3-4袋/10a

10aあたり施肥例：7～13袋/10a（土壌条件等に合わせて適宜調整してください）

◎ 土づくり肥料を基肥と併せて施用しましょう!!

区 分	銘 柄	成 分 (%)				特 長
		窒素	リン酸	加里	その他	
土づくり	土づくり12号	—	12	—	苦土 6%	マンガン・ハウソ・アルカリ分含有
	ストロングバランス	—	—	—	苦土12%	カルシウム・マンガン・ハウソ・アルカリ分含有
	アヅミン	—	—	—	苦土 3%	腐植酸約50%
	畑のカルシウム	—	—	—	—	カルシウム・硫黄含有、pHを変化させない
	BMリンスター	—	30	—	苦土 8%	マンガン・ハウソ分含有 2袋/10a

10aあたり施肥例：土づくり12号・ストロングバランス3～5袋、アヅミン2～3袋

◎ にんじん栽培暦 <例> （秋冬どり栽培）

月 旬	7	8	9	10	11	12	—	3	4
	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
秋冬どり栽培	○ — ○					収 穫			
施 肥	●								
作 業	基 肥 播 種 間 引 漕 水								

生育のばらつきがないように、施用後は均一に耕うんしてください。



TOPICS

全農杯 全日本卓球選手権大会（ホープス・カブ・バンビの部）
千葉県大会を開催！

J A全農は、2013年度から「全農杯全日本卓球選手権大会（ホープス・カブ・バンビの部）」に特別協賛し、卓球選手たちの夢を応援しています。試合はホープスは小学生6年生以下、カブは小学生4年生以下、バンビは小学生2年生以下の部に分かれて行われ、全国で約7,500名の卓球選手たちが凌ぎを削る大会です。



鋭いラリーを続ける選手

5月28日（土）、J F E 千葉体育館（千葉市）にて「全農杯全日本卓球選手権（ホープス・カブ・バンビの部）」の千葉県大会が開催され、県内の小学生以下103名が全国大会出場を目指し、熱戦を繰り広げました。

コロナ禍により歓声が制限されるなか、得点が入る度に客席からは大きな拍手が湧き、思わず息を呑むような選手たちの鋭いラリーの応戦に、会場は外の暑さに負けない熱気に満ちていました。

特に、ホープス女子の部ではフルゲームとなる試合が多く、予定時間を大幅に上回る白熱した試合展開となりました。

J A全農ちばは、選手たちのより一層の活躍を祈念し、県産農畜産物などを上位入賞者への副賞および参加賞として提供しました。

なお、入賞者は7月28日から神戸で行われる全国大会への出場を予定しています。

優勝	・ 精米「粒すけ」(5kg) ・ 精米「ふさおとめ」(5kg) ・ 房総ポーク加工品詰合せ
2位	・ 精米「粒すけ」(5kg) ・ 房総ポーク加工品詰合せ
3位	・ J A全農ちば フルーツ＆キャロット
参加賞	・ オリジナルエコバッグ



ホープス入賞選手の皆さん

TOPICS

農業大学校学生が
初の落花生生産から販売までに挑戦

5月31日、千葉県立農業大学校の圃場において同校の模擬会社とＪＡ全農ちばがコラボし、初となる落花生の播種作業を実施しました。この模擬会社は、将来の農業経営を想定して生産から販売までを学生自らが運営する会社で、今回の落花生生産・販売は初挑戦となります。収穫後は、地元のＪＡ山武郡市に出荷し、製品化して販売する予定です。



学びながら播種を行う学生の皆さん



手播きの様子

当日はあいにくの雨模様でしたが、土壌の状態を見定めて作業にとりかかり、およそ10アールの圃場に播種しました。

模擬会社社長で同校研究科2年の長澤光輝さんを筆頭に、学生たち10数人が連携して圃場を計測し、播種の間隔などの下準備を行いました。その後、同校研究科の平野堅一教授とＪＡ全農ちば米穀特産事業企画課の池谷博文担当が播種機の操作方法等を分かり易いよう丁寧に説明しました。学生たちは、播種機の操作係

やマルチの調整係、種子が落ちなかった穴に手播きする係などに役割分担し、真剣な表情で作業に取り組みました。

また、落花生の基礎知識を得るため学生が企画した落花生クイズ大会では、学生2名とＪＡ全農ちば職員2名による対戦を行い、県内で初めて栽培が開始された地区や栽培面積に関する問題が出されました。後日、落花生のＰＲ動画として播種の様子とともに動画配信サイト「YouTube」上で公開を予定しています。

ＪＡ全農ちばは、引き続き、落花生の消費拡大のＰＲや集荷数量拡大、生産振興をはじめ、生分解性マルチの普及拡大に向け取り組みをすすめてまいります。



作業中の一コマ



落花生クイズ大会で闘志を燃やす代表選手

JAグループ千葉統一広報



みどりの 食料システム戦略


農林水産省HP
QRコード

～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～

環境負荷低減を目指す農林水産省の政策方針「みどりの食料システム戦略」をご存知ですか？我が国で起こっている大規模自然災害、世界で問題になっている地球温暖化、生産者の減少や高齢化など農林水産業に関わる政策課題は山積しています。諸外国は、環境や健康に関する戦略を組み合わせながら持続可能な食料システムを構築し、将来に備える動きを見せています。我が国も、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立を実現するため新たな考え方や技術を取り入れ、新たな価値を創造し、変革をもたらす取組として出した政策が「みどりの食料システム戦略」です。

2050年までに目指す姿

農林水産業のCO2 排出量ゼロ化の実現



低リスク農業への転換、総合的な病害虫管理体系の確立・普及に加え、ネオニコチノイド系を含む従来の殺虫剤に代わる新規農薬等の開発により化学農薬の使用量（リスク換算）を…

50%低減

輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を…



30%低減

耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を…



25%に拡大

100万 ha

※一部の取組方向は省略



期待される効果



経済

持続的な産業基盤の構築

- 輸入から国内生産への転換（肥料・飼料・原料調達）●国産品の評価向上による輸出拡大
- 新技術を活かした多様な働き方、生産者のすそ野の拡大

社会

国民の豊かな食生活・地域の雇用・所得増大

- 生産者・消費者が連携した健康的な日本型食生活 ●地域資源を活かした地域経済循環
- 多様な人々が共生する地域社会

環境

将来にわたり安心して暮らせる地球環境の継承

- 環境と調和した食料・農林水産業 ●化学農薬・化学肥料の抑制によるコスト低減
- 化石燃料からの切替によるカーボンニュートラルへの貢献

※農林水産省「みどりの食料システム戦略について」説明資料より抜粋

「みどりの食料システム戦略」の新法が4月22日の国会で可決！この食料システムを進めるうえで、生産者だけに負担が集中しないよう配慮することを含めた附帯決議がなされました。

※下線は全てJA千葉中央会によるものです。

環境と調和のとれた食料システムについては、農林漁業者、食品事業者、消費者等の幅広い関係者の理解の下、これらの者が連携することにより、その確立が図られるものであることに鑑み、国が必要な施策の検討及び実施を行うに当たっては、農林漁業者等、特定の者のみに過度な負担をもたらすことがないよう配慮するとともに、農林水産物・食品の付加価値を高め、農林漁業者をはじめとする関係者の経営の発展、農山漁村の活性化に資するよう努めること。（※以下省略 第208回国会 参議院農林水産委員会（令和4年4月21日）附帯決議より一部抜粋）

お知らせ

JA全農インターネット通販

JAタウン

JA全農ちば 愛情いちばん館

千葉県産農畜産物のご贈答・お取り寄せなら

<https://www.ja-town.com>



ほんの一例です/
主な取扱商品

JAタウン“JA全農ちば 愛情いちばん館”では、産地自慢の「ちばの味」を全国へ産地直送でお届けしています。贈り物やご自宅用に是非ご利用ください。

うふふなメロン[貴味メロン&貴味レッド 特5 L] (2種詰合せ)

千葉県東部の九十九里の温暖な気候で育まれた旭市飯岡(いおか)地区の貴味メロン。直売所には、出荷時期ともなると贈り物にしようとたくさんのお客様で行列ができる、地元でも愛される人気のメロンです。青肉のタカミメロンと赤肉のタカミレッドの2種類を1玉ずつ楽しめるセットになっております!



“完熟”
いすみのブルーベリー

いすみの“完熟”ブルーベリー!“完熟”したものだけを収穫し、粒の大ききまでこだわったものを大切にお届けします!



かとりのだう
デラウェア 1kg(6~7房)

デラウェアは種がなく、果粒が小粒で食べやすく、適度な酸味と抜群の甘さが特徴!!種なしブドウの定番として古くから親しまれてます。

うふふなメロンゼリー

糖度の高い貴味メロンのピューレをふんだんに使用し、風味豊かな味を実現!1袋に青肉、赤肉 各5個入り。



若潮牛

若潮牛を「肉の旨味」「上質な脂」が堪能できる焼肉用にご用意いたしました!ご家庭でのバーベキューや贈答用にオススメです!



お問い合わせ

全国農業協同組合連合会 千葉県本部 園芸部 園芸直販課
TEL 043-245-2911



愛情いちばん館HP

お知らせ

JA全農ちばは、「アグリ情報“ちば”」が生産者の皆さまとの情報交換の場となるよう努めて参ります。身近な話題、ご意見、ご要望などございましたら、下記連絡先までお寄せください。

アグリ情報“ちば”に係る
個人情報の取り扱いについて



組合員の皆さまからご提供いただきました個人情報、は、「アグリ情報“ちば”」送付の目的にのみ使用いたします。

JA全農が提供するラジオ番組

Tokyofm
Life time audio 80.0

ZEN-NOH
COUNTDOWN JAPAN

13:00~13:55 毎週土 生放送
全国の農畜産物をプレゼントします。

ニッポン
リタがきます紀行

15:50~16:00 毎週木
生産者の声や開発の道のりなど商品の魅力を紹介します。

SCHOOL OF LOCK! THURSDAY 23:00
農業部
23:00~23:06 毎週金
農業について一緒に楽しく学びましょう。
TOKYO FM IFN 38 STATIONS



JA全農ちば
公式HP



JA全農ちば
公式Instagram

